

公立保育園再整備の検討について

こども部保育運営課

1 モデル園（再整備検討の第1グループ）の再整備検討について

(1) 若葉保育園

隣接する柏第三小学校の敷地を活用した現地建替を検討する。

(2) あげぼの保育園，豊住保育園，桜台保育園

「柏市公立保育園再整備検討報告書（令和6年5月）」において，建築技術者の意見から「現敷地内での建替え（敷地内仮設・敷地外仮設）」又は「移転建替え」の手法が示されたが，それぞれの手法の妥当性について下記により検討した。

ア 「現敷地内での建替え（敷地内仮設）」について

工事期間中に安全かつ適切な保育を提供できるか，各園周辺の公園について代替園庭として活用できるか公立保育園の保育士（園長）の意見等を踏まえ検討を行った。

《公立保育園保育士（園長）の主な意見》

工事車両の動線について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 朝・夕の送迎時の保護者・園児の動線と重なっており，安全の確保が困難である。 ➤ 日中についても，代替園庭への移動や散歩の際の保育士・園児の動線と重なっており，安全の確保が困難である。
代替園庭について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 園児の運動に関する発達を考慮すると代替園庭は必要である。 ➤ 移動中の交通事故のリスクを考慮すると代替園庭への移動距離は短い方がよい。 ➤ 定員90～130人規模の保育園が，公園を代替園庭として使用する場合，一般の利用者や近隣住民にご不便・ご迷惑をお掛けする可能性がある。

イ 「現敷地内での建替え（敷地外仮設）」及び「移転建替え」について各園周辺の未利用市有地について，仮設園舎設置用地又は移転建替え用地として活用できるか検討を行った。

《「公立保育園再整備検討資料」要約》

園名	現敷地内での建替え		手法④
	手法②敷地内仮設	手法③敷地外仮設	移転 建替え
あけぼの	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 園の近隣で代替園庭を確保することは困難である。 ➤ 工事期間中は、工事車両と保護者・園児との動線が重なり安全な保育の提供が困難である。 	近隣に敷地外仮設及び移転建替えに適した未利用市有地はない。	
豊住	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 園の近隣で代替園庭を確保することは困難である。 ➤ 工事期間中は、工事車両と保護者・園児との動線が重なり安全な保育の提供が困難である。 ➤ 仮設園舎が3階建てとなり保育運営が難しい環境となる。 		
桜台			

2 今後の対応について

(1) 若葉保育園

教育委員会及び庁内関係部署と協議しつつ、現敷地内での建替えについての検討を進める。

(2) あけぼの保育園，豊住保育園，桜台保育園

現敷地内での建替えが困難であり、未利用市有地を活用した移転建替も困難である。その一方で建物建築後の経過年数が50年を超えており、このまま移転建替等の用地を確保できないときは、建築後60年を目安に休園等の対応が必要となる。

そのため、事前周知を行った上で新入園児の受入れを段階的に停止しつつ、社会情勢や周辺の保育需要を考慮しながら再整備の方向性について検討する。